

10年以上「離職率ゼロ」のヤマトカンキョウ、TUNAG導入で紙の日報を廃止し年間200万円のコスト削減を達成

月20～25時間の残業がほぼ30分以下に。スマホを活用した日報・運行記録のデジタル化により管理職の承認工数も大幅に削減

ヤマトカンキョウ株式会社、TUNAGで紙の日報を廃止し
年間200万円のコスト削減を達成



従業員体験プラットフォーム「TUNAG（ツナグ）」を開発・提供する株式会社スタメン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大西泰平、以下当社）は、水道事業を中心にインフラサービスを展開するヤマトカンキョウ株式会社（本社：佐賀県佐賀市、代表取締役社長：牧瀬正和、以下ヤマトカンキョウ）における「TUNAG」の活用事例を公開したことをお知らせいたします。

同社はTUNAGの導入により、現場のデジタル化と業務効率化を推進し、年間約200万円のコスト削減を達成するとともに、さらなる組織エンゲージメントの向上を実現しました。

導入の背景 | 手書きの日報と押印で発生していた膨大なコスト

ヤマトカンキョウは創業60年を超え、10年以上の離職率ゼロ、有給消化率98%という高い従業員定着率を維持している一方、現場の業務運用における「アナログ手続きの多さ」に課題を抱えていました。特に日報はすべて紙で運用されており、社員が帰社後に記入し、複数の上長が順に押印するプロセスをとっていました。この押印待ちや事務作業のためだけに帰社後の残業が発生しており、人件費や用紙代を含め年間約200万円のコストの無駄が生じていることが判明。また、オフィスのリフォームに伴い従来の社内掲示板が撤去されることを機に、各自の端末でリアルタイムに情報を受信できる環境の構築を検討し、TUNAGの導入に至りました。

「TUNAG」で構築した取り組み



同社は、ITツールに馴染みの薄い50代・60代のベテラン社員も含めた全スタッフが迷わず使えるコミュニケーション基盤としてTUNAGを活用し、以下の取り組みをおこなっています。

スマホによる日報・運行記録の完全デジタル化

全社員へ社用スマホを支給し、日報や運行記録の入力をTUNAGへ完全移行しました。前回入力した内容をコピーする機能を活用することで、隙間時間に数分で入力を終わらせる環境を整備。また、管理職も外出先などからスマホで即座に承認（押印の代替）が可能となり、押印のために発生していた拘束時間や残業が大幅に軽減されています。

部署横断の「研修日報」公開による人材配置の最適化

新入社員が複数の部署を横断して受ける研修の日報を、全管理職が閲覧できる設定で運用。現場での調整がスムーズになったほか、本人の適性や成長度合いをリアルタイムに追えるため、配属先の判断材料として機能しています。

経営層の想いとビジョンを直接届ける経営メッセージ

外回りの多い社長やリモートワーク主体の経営陣が、今何を考えているかを直接現場へ発信。60周年を機に策定した「私たちは街づくりの会社である」というビジョンを直接届け続けました。現場社員の間でも方針を前提とした判断や会話が日常的に交わされるようになり、情報の透明性と一体感が向上しました。

導入後の成果 | 月20時間超の残業が30分以下に激減、理念が自発的な言葉へ

TUNAGの導入とその他の業務改善を組み合わせた結果、月平均20~25時間あった1人あたりの残業時間が、現在はほぼ全員30分以下に激減しました。管理職が押印のために早く出社する必要もなくなり、大幅な負担軽減を達成しています。

また定性的な成果として、経営層が発信し続けてきた「街づくりの会社」というビジョンが現場に深く浸透。社員同士が雑談の中で「俺たちは街づくりの会社なんだから、こういう動きをしなきゃダメだよ」と話すなど、会社の未来を自分ごととして捉えて会話する変化が生まれています。

ヤマトカンキョウ株式会社 経営戦略部 西嶋様のコメント



発信し続けてきた想いが、社員自身の言葉として定着しているのを耳にした時は目頭が熱くなりました。日報のコメントが翌日の職場の話題になるなど、部署を超えた絆がさらに深まっています。今後はマニュアルの集約や社内テストの仕組みもTUNAG上に構築し、教育の平準化を図る予定です。最終的には、経営陣が細かく指示を出さなくても現場から改善案が次々と生まれる『自走する文化』を作りたい。TUNAGは会社と人をつなぎ、その未来を支えるために欠かせないインフラになっています。

TUNAGについて

人と組織に“働きがい”を
エンゲージメント向上を支援する

TUNAG

社内掲示板 web社内報 理念浸透 サンクスカード
社内チャット ワークフロー 福利厚生 組織診断

利用中企業数 **1,400**社以上
2026年4月時点

アカウント数 **150**万以上
2025年4月時点

TUNAG（ツナグ）は、組織の生産性向上や離職率の低下を目的とし、社内コミュニケーションと情報共有を促進する統合型プラットフォームです。2026年6月時点で、利用中企業数は1,400社、利用ユーザー数は150万人を突破しています。

従来のエンゲージメント施策に多いサーベイや分析・診断中心のサービスとは異なり、TUNAGは実践支援型のプロダクトです。社内SNS、表彰、制度運用といった日々の行動に紐づいた機能設計により、組織課題を具体的なアクションで解決へ導きます。

さらに、ノンデスクワーカーにも届きやすい設計とUIにより、リモート環境や多拠点展開企業でも高い活用率を実現。サーベイにとどまらず、「つながり」や「感謝の循環」など、組織文化の醸成まで一貫して支援できる点が、TUNAGの大きな強みです。

▼TUNAGでできること（一部ご紹介）

会社からのお知らせ / WEB社内報 / 社長メッセージ / サンクスメッセージ / 1on1 / 日報 / 社内ポイント / 社員プロフィール・自己紹介 / 社内表彰 / 研修・マニュアル / 社内教育用テスト / 組織診断 etc…

■資料請求：<https://go.tunag.jp/l/900371/2024-10-07/k9gd7>

■公式サイト：<https://biz.tunag.jp/>

■導入事例：<https://biz.tunag.jp/case>

株式会社スタメンについて

「一人でも多くの人に、感動を届け、幸せを広める。」を経営理念に、2016年に創業。その後順調な事業拡大により2020年12月に株式上場。HR Tech領域のサービスである「TUNAG」、クラウド型のIT資産管理・操作ログ管理ツール「Watchy」をはじめとした、複数のサービスを展開しています。

会社名：株式会社スタメン

代表者：代表取締役社長 大西 泰平

東京本社：東京都千代田区麴町6-6-2 番町麴町ビルディング 5F

名古屋本社：愛知県名古屋市中村区下広井町1-14-8

事業：TUNAG（ツナグ） <https://biz.tunag.jp/>

Watchy（ウォッチー） <https://watchy.biz/>

創業：2016年8月

従業員数：216名（2026年3月末時点の連結正社員数）

証券コード：4019

URL： <https://stmn.co.jp/>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000368.000023589.html>

株式会社スタメンのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/23589

【本件に関する報道お問い合わせ先】

株式会社スタメン

TEL：052-990-2405 | MAIL：pr@stmn.co.jp

担当：菊地夏美（TEL：080-4804-9642）